

## 平成30年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	オール霧島魅力創造・発信プロジェクト「新たなる挑戦!!」
担当部局課名	商工観光部霧島PR課

## 1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	市民等のまちへの愛着度を高め、まちの魅力づくりに参画する人口を増やすために、加速化交付金事業で実施した霧島市を愛する人を増やす「キラシマイスター制度」等をさらに推進する。また官民一体となった魅力づくりや情報発信を行い、持続的な発展につなげる。 そのために、市民の方等がブランディングや情報発信について専門的な知識を学べる機会を作り、まち全体のブランド・PR力を高める。また民間のノウハウを活用した効果的な情報発信とメディアとのネットワーク構築を図る。さらには、移住の受け入れ態勢づくり等に取り組んだ。			
交付額	14,493,600 円	交付対象事業費	28,987,200 円	
事業始期年月	平成30年4月1日	事業終期年月	平成31年3月31日	
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住み続けたいまちづくり			
	関連施策 II -① I・J・U 移住天国霧島魅力倍増計画			

## 2. 本事業における重要業績評価指標 (KPI)

設定した目標値の根拠	社会動態・移住・交流人口が増えることは、効果的な情報発信により本市の魅力が広く伝わり、本市を観光で訪れ、移住・定住に繋がったことを意味することから、目的達成の指標となる。また、移住・定住人口の増加は、人口増や地域経済の活性化に直接結びつくことから、費用対効果を計測しやすい。				
	指標	達成状況	H28基準値	H30実績値	目標値
KPI①	社会動態の増	未達成	—	△341人	166人
KPI②	移住人口	達成	100人	162人	100人
KPI③	交流（観光）人口の増	未達成	8,118,000人	8,156,968人	8,445,000人

## 3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に効果があった

【凡例：選択肢】

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## 4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の発展	本事業により、市民等のまちへの愛着度を高め、魅力づくり・魅力発信に参画する人口を増やすことで、本市の魅力向上、魅力発信の強化につながっていくものである。また、首都圏メディアへの効果的な情報発信により、メディア露出を増やし、本市の認知度向上につなげる。さらには、移住受入れ態勢を構築することで、移住者増につながるものである。

【凡例：選択肢】

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））